

と き 瞬間 No.112

寿波苑広報誌 ～ TOKI ～



社会福祉法人 松友福祉会
障害者支援施設 寿波苑

〒723-0035

広島県三原市須波/ハイツ四丁目15番1号

TEL (0848) 69-0568

E-mail: soudan@sunamien.jp

2022年4月発行



節 分 行 事

鬼は～外！ 福は～内！



今年の年男・年女にあたる利用者様が袴を着用し、記念撮影をしました。
毎年恒例の豆まきは、新型コロナウイルスの感染予防のため規模を縮小して行い、鬼のお面をつけた職員に向かって豆を投げ、昼食には巻き寿司を食べて節分らしさを味わいました。

利用者様の声

「豆を投げれてよかった。楽しかった。」
「袴を着ることがないので新鮮でした。」



☆☆☆ 日中支援活動 ☆☆☆

ボーリング

ピンをめがけて「一生懸命投げたよぉー」と、嬉しそうに話してくれたり、ストライクが出た時はガッツポーズ!!

あまり倒せなかった時は「あれ? まちがえた?」と苦笑いだったり…。利用者さんの笑顔、たくさん見ることができました。



リラクゼーション

懐かしい曲を聴いて、あの頃を思い出したり、時には涙を流す利用者さんも…。

マスクをしながらですが、小さな声で歌を歌ったり♪早くマスクを外して大きな声で歌いたいですね。

心癒される楽しい時間が過ごせました。



将棋・オセロ

日中支援で将棋・オセロを行いました。

真剣なまなざしで、どこに打てばよいかの筋をその都度考えながら、対戦を楽しんでいました。



輪投げ

日中支援で輪投げを行いました。

投げた合計点数にて競い合い「もうちょっと左かな」等、皆で助言し合いながら楽しみました。



グ

ル

メ

会

去る1月26日と2月24日、グルメ会が行われました。毎年冬の恒例行事となっていますが、今年もコロナ感染症対策中の為、残念ながら食堂で鍋を囲むことはできませんでした。

メニューは1月が「すき焼き」、2月が「もつ鍋風ラーメン入り」です。個々の皿に盛りつけられたすき焼きやもつ鍋を、皆さんおいしそうに食べていました。特にすき焼きのうどんやもつ鍋のラーメンといった麺類がいつも好評です。

来年もグルメ会が行われる予定ですが、鍋を囲める日が来るのが待ち遠しいですね。



自治会総会

3月30日(水)

年度末恒例行事、利用者自治会の総会が行われました。

利用者自治会は、自治会役員・行事实行委員・下部組織（生活部・行事部・給食部）、自治会会員で運営されています。

1年間の活動内容を利用者自治会総会で報告し、その後、次年度の自治会会長の選挙が行われました。

次年度も気持ちを新たに健康第一でよろしくをお願いします。



桃の節句 ひな祭り



今年も寿波苑の食堂に、七段の雛人形が飾られました。

細かい部品が多いので毎年悩みながら飾り付けをするのですが、煌びやかな雛人形を眺めていると、春の訪れを身近に感じ心が浮き立つようです。

昼食には「ひし形寿司」「鶏銀杏茶碗蒸し」「ほうれん草としめじのピーナツあえ」「ひなあられ」「甘酒」で祝いをしました。



ミニ小説

『人間が怖い！（タヌ子と均二）』

利用者 光 籬 好

屋外は日差し明るく、木の芽は芽吹いて春模様。とは言え屋内は、まだ肌寒く暖房効かせている。窓の内では、団地の町内会メンバーがイベントの相談で数人集まっていた。その中の一人が裏山の方を見て「あつ！見て、見て。ほら、ほら子狸だ」と叫んだ。みんながガラス戸越しの外を一齐に見る。

裏山の斜面に子狸が二匹きよとんと、こちらを見ている。ガラス戸に駆け寄り「うわ!!可愛い!」と奇声を上げる人もいる。勿論、距離もありガラス戸越しだから、子狸には屋内の奇声など聞こえない。

想定外の騒ぎになる。町内会メンバーの均二は、この中で一人、あの子狸の母である狸を知っていた。たぶん子狸の母親のタヌ子は身を隠し「子狸や、早く巣穴へお帰り!怖い、怖い人間がやってくるよ。お散歩は、お日さまの沈んだ暗い夜だよ」こう言っているに違いない。

タヌ子の住む巣穴は、此処の山を壊す前から今の位置にあった。団地の造成は巣穴の前まで迫り木の葉の枯れ落ちる秋には、立木の合間から透けて見えるようになった。そうして狸の一家は人目にさらされた。狸、いや、この山に住む生き物達の生活基盤である山が壊された。それと同時に獣道も消された。

タヌ子が消された道と思われる所をたどると家の壁に突き当たり行き止まりになった。思索しながら引き返すタヌ子に悲劇は起こった。

迂回して元の獣道に戻るためにアスファルトの道に出る。その時!「狸だ!捕まえる!」と男二人に追いかけられた。

近くの家に飛び込み物置の隅に隠れた。男たちの足音が通り過ぎ、次第に遠ざかった。すんでの処で命拾いしたな、とタヌ子はその時思った。

ところが、物音を聞きつけたこの屋の主、均二に見つかった。万事休すとタヌ子は目を瞑り観念した。ところが均二はタヌ子に逃げるように仕向け立ち去った。

数日が経ち狸のことなどすっかり忘れた闇夜の晩に、均二が一人居間でテレビを見ていた。トントン!ポンポン!と戸をたたく者がいた。

均二がカーテンを開けると人影のシルエットが現れ「こんばんわ」と女の声が出た。

戸を開けると一瞬狸の顔が見え、幽かに獣臭もする。美人に化けているが、狸であることは間違いない。「先日はありがとうございます」狸、いや美人に言われ均二は、この前の札に來たのだと分かり感心した。

その時テレビのニュースが流れ、「戦争を回避できず、アイ国軍の空爆でレン国の民間人の多数が死亡」とカラマール放送が伝えました」と放送した。テレビを聞いたタヌ子が「狸は狸を殺さないよ。人間は人間を殺す、人間の悲しい性だね」そう言う、均二に丁寧にお辞儀をして、闇夜に消え去った。

タヌ子の消え去った闇を見つめながら：均二は「悲しい性…」と、つぶやいた。

☆ お楽しみ行事予定 ☆

4月

お花見会
蛭子神社例大祭（分社）
蛭子神社例大祭（本社）



5月

害虫駆除
ワックス清掃
消火訓練



6月

日帰り旅行

7月

ふれあい祭り



毎月行事

〈第2木曜日〉 誕生会、苑長との会食

〈月1回活動〉 クラブ活動

（華道・陶芸・喫茶・書道）

〈随時活動〉 日中支援活動

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、中止又は延期になる行事があります。

施設利用者、木村 進様が令和4年3月14日に永眠されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

お悔やみ

利用者の動き

〈退 所〉

山 田 学 様

（令和4年1月31日付）



井 沖 児

上 玉

様 様 様



御厚志ありがとうございます
ございました

☆ 紹介コーナー ☆ No.41

今回紹介するのは、新型コロナウイルス感染症がまん延してからというもの、更に必要不可欠となった検温計とアルコール消毒液です。玄関に設置されている検温計はセンサー式で、前に立つと自動的に体温を計測してくれる優れものです。一方アルコール消毒液は、足でペダルを踏むと液が噴霧される仕様になっています。スーパーや病院など、今やあらゆる場所に設置されているものですが、積極的に活用して、体調変化の気づきや病気の感染防止に役立てていきたいですね。



編集後記

だんだんと暖かくなり、桜も咲きだしていますネ！今年の冬は例年に比べるとかく寒く、積もることはなかったですが雪が降った日もありましたネ。

春になるにつれて、花粉が飛び交い毎日が辛いですが、それでも春の陽気な天気はとても過ごしやすい、桜もキレイなので私は春が一番好きな季節です。

今後とも新型コロナウイルス感染対策を継続していきながら、春を利用者の皆さんと一緒に過ごせればと思います。

（新人編集委員）

新型コロナウイルスオミクロン株がこの冬最大の猛威を振るい、全国的にまん延防止等重点措置が適用されました。感染力が桁違いのオミクロン株が、利用者様に感染することの無いよう対策を更に徹底し、3回目のワクチン接種も利用者様、職員共に大きな副反応等なく終えることができました。ですが同時に利用者様の日々の活動も制限されたものとなってしまい、掲載する内容も少なくなりました。今号ですが、なんと文章を書くことが得意な利用者様がミニ小説を寄稿してくださいました！（なんと詩集も出版されています！）ほんのりと寂しさを感じさせる作品…いかがでしたでしょうか？感想お待ちしております！

（新人編集委員）